

平成30年度第1回蒲郡市総合教育会議 会議録

開催日時	平成30年10月4日(木) 10時から11時30分まで
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室
出席者	<p>蒲郡市長 稲葉 正吉 蒲郡市教育委員会 教育長 大原 義文 教育長職務代理者 高田 稔 委員 小田 裕慈 委員 石渡 篤史 委員 渡辺 充江</p> <p>【オブザーバー】 企画部 部長 飯島 伸幸 総務部 部長 壁谷 勇司 教育委員会教育監 岡田 敏宏 教育委員会事務長兼庶務課長 尾崎 弘章</p> <p>【説明者】 教育委員会学校教育課長 遠山 祐幸 教育委員会生涯学習課長 大岡 雅道 市民福祉部次長兼健康推進課長 石黒 美佳子 市民福祉部健康推進課 課長補佐 浅井 直幸 市民福祉部次長兼子育て支援課長 岡田 隆志 市民福祉部子育て支援課 課長補佐 伊藤 孝慶</p> <p>【事務局】 企画部企画政策課長 牧原 英治 企画部企画政策課 係長 小山 道徳 企画部企画政策課 主事 青木 佑紀</p>
報告事項	<p>1 子育て世代包括支援センターの開設について 2 児童発達支援センターの開設について</p>
情報交換	1 地域コーディネイターについて
会議資料	<p>【資料】 No.1 子育て世代包括支援センターについて No.2 児童発達支援センターについて No.3 学校と地域でつくる学びの未来</p>
内容(要旨)	<p>報告1 子育て世代包括支援センターの開設について 【説明者：市民福祉部次長兼健康推進課長】 来年度開設を予定している子育て世代包括支援センターについて説明した。 【教育委員の意見】 ・金銭的な援助を必要とする家庭もあると想定される。 ・青少年センターとの連携をとり、18歳を過ぎた方への支援につなが</p>

ると良い。

- ・多くの団体が関係機関になるため、連絡調整をしっかりと行うべき。
- ・不妊など子育て前の段階での悩みについても対応できれば、より活用が進むのではないか。

報告2 児童発達支援センターの開設について

【説明者：市民福祉部次長兼子育て支援課長】

来年度開設を予定している児童発達支援センターについて説明した。

【教育委員会の意見】

- ・市内の子どもたちをよく知る市民病院との連携を深めてほしい。
- ・施設の内容は良いものだが、保育園の人手不足が助長されないよう対応が必要である。
- ・子どもの数が減っている中での施設の開設になるため、財政的に他の予算を圧迫することなく施設の継続ができるのか懸念がある。

情報交換1 地域コーディネイターについて

【説明者：教育監】

地域学校協働活動と地域コーディネイターについて説明した。

【教育委員の意見】

- ・どんな方が地域コーディネイターを務めるかが鍵となる。
- ・地域コーディネイターは地域と学校の両方から理解を得られ、高い志を持った方が望まれる。
- ・地域コーディネイターが短期で変わっていく体制では実現が難しい。
- ・地域の方と子どもたちが目標や思いを共有できるコンテンツがあると交流が深まりやすい。
- ・子ども放課後教室は安全性確保に考慮しつつ、早期に実現してほしい。

【市部局の意見】

- ・現段階では検討していくべき事項も多く、学校との調整も含め、具体的な内容の検討を深めてほしい。